

【電子版】



2023年 第35号 2023年12月25日

発行：自交総連本部

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201

tel. 03-3875-8071

fax. 03-3874-4997

メール info@jikosoren.jp

ホームページ→



「もっと反対の宣伝を強めるべき」

ライドシェア解禁阻止統一行動

全国七都府県で宣伝を実施

自交総連は現在、各地連・地本において毎月第一週にライドシェア解禁阻止への統一行動を行っています。各地からタクシー運転者やバス運転者、利用者からの反応がすこぶる良いとの声が上がっており、誰も危険な輸送手段を望んでいないことが顕著に窺えます。さらに、運動の輪を拡げていくことが重要です。

12月は、東北地連、東京地連、神奈川地本、静岡地連、関西地連から報告が届きました。

東北 「タクシーがなくなるのは困る」との声

東北地連は12月の「ライドシェア解禁阻止」統一行動として、1日に宮城県仙台駅前、5日に福島県相馬駅前、7日に福島県福島駅前で宣伝行動を実施しました。

それぞれタクシー労働者や利用者へビラ・ポケットティッシュを配り、音源を流してライドシェア反対への協力を呼びかけました。

【12月1日・仙台駅前】

- タクシー労働者へ1時間でビラ200枚、ポケットティッシュ200個を配布。
- 反応は極めて良く、「がんばってライドシェアを止めてほしい」など激励を受けた。

RS利用したくない62% 毎日新聞の世論調査

毎日新聞は11月21日付朝刊で、同社による18、19日実施の世論調査で、自家用車ライドシェアについて「利用してみたい」が23%、「利用してみたいとは思わない」が62%を占めたとの結果を掲載した。「利用してみたい」のうち男女別では、男性が30%、女性は

14%にとどまった。すべての世代で「利用してみたいとは思わない」が過半数を占めた。地域別では北陸・信越や近畿、四国でライドシェアを好まない人が多かったとしている。

【交通界速報2023. 11. 22付による】

2023. 12. 07 福島・福島駅前



【12月5日・相馬駅前】

- 本部ビラ50枚、ポケットティッシュ50個を配布。

【12月7日・福島駅前】

- タクシー労働者及び市民へ本部ビラ400枚、ポケットティッシュ400個を配布。
- ライドシェアについてはほとんどの市民がわかっていた。激励も受けた。特に「タクシーがなくなる」という訴えには「それは困る」という反応が多かった。
- タクシー労働者からは、「何とかライドシェアをやめさせてくれ」「がんばってくれ」の反応があった。
- ライドシェアは知られており、もっと反対の宣伝を強めるべきだという声があった。

また、東北地連は宣伝カーによる「ライドシェア解禁阻止」のCD流しを連日行っています。アナウンスを響かせながら街を走っていると宣伝カーへ手を振る人もおり、効果がわかりやすく現れています。雪の影響で一時中止していますが、状況をみながら2月以降にまた再開したいとしています。

【実施日と区域】

12月2日仙台市泉区～3日仙台市青葉区～9日仙台市太白区～10日仙台市青葉区～16日仙台市宮城野区・若林区～17日塩釜市内

静岡 「一般人にもっとアピールしてほしい」

静岡地連は12月4日、関東ブロックの支援のもと静岡駅北口、掛川駅南口、浜松駅南口で宣伝行動を実施しました。

のぼり旗を立てた本部宣伝カーの壇上から関東ブロックの役員が次々に演説を行い、タクシー乗務員および一般通行人へビラ入りポケットティッシュ150個を配りました。

浜松駅では、地元・西部地区労連の役員2名が応援に駆けつけ、地区労連議長は地連の大会で以前プレゼントしたマフラータオルを掲げてアピールし、連帯のあいさつもしてくれました。

2023. 12. 04 静岡・掛川駅前



反応としては、「一般人にもっとアピールしてほしい。署名があれば協力する（静岡駅・男性個人タクシー運転者）」といったものや、「ライドシェアは絶対反対。頑張してほしい（浜松駅・女性タクシー運転者）」といったものがありました。市村委員長は、「宣伝はもっとすべきだと思うが、駅に待機するタクシーが少なく、より効果的な方法を考えなければならない」と感想を述べました。

神奈川 次回は宣伝カーを活用した宣伝も

神奈川地本は12月15日、寒空の下で桜木町駅前でもライドシェア解禁阻止に向けた宣伝行動を実施しました。横浜ブロックの有志2名も駆けつけ、神奈川労連からも協力を得ることができましたが、天候不順により小規模での行動となりました。天候が悪かったため足早に通りすぎていく人も多かったものの、ビラ・ポケットティッシュを70個配布することができました。次回の行動はまだ未定ですが、宣伝カーを活用し、主要駅頭などで宣伝を行いたいと佐藤書記長は報告を締めくくりました。

東京 「今回の宣伝で認識が一変した」

【東京】東京地連は、ライドシェア解禁に向けた急激な策動が進む中、世論に危険性を訴えるためマスコミ前ライドシェア解禁阻止宣伝を実施しました。12月11日、午前10時から南部ブロックと東個労10組合12人が参加し、日本テレビ前に宣伝カーを配置してゆりかもめ駅や新橋駅を利用する通勤者などへ向けて宣伝を展開。第一声を発した徳永委員長は「公共交通でないライドシェアの解禁は利用者を危険へと導く、世界の諸外国ではさまざまな事件や事故が相次ぎ、廃止する方向にある。推進する自民党議員はその様な実態を把握し、利用者の安心・安全を最優先に考えるべきだ」と怒りの声を上げました。その後、11時からTBSのある赤坂へ移動し、東部ブロック2組合7人が合流

「神奈川版RS」の早期実現を要求 神奈川県が河野大臣に要望書

神奈川県は13日、斉藤鉄夫国交相および河野太郎・規制改革担当相に宛て「神奈川版ライドシェアの実現に向けた要望書」を提出した。タクシー事業者との連携を前提に、タクシーが不足している地域や時間帯に限定し、一般ドライバーが自家用車を使って、有償で乗客の運送を行う「神奈川版ライドシェア」の早期実現を求めている。要望は、①利用者の安全を確保するために、実施主体をタクシー会社とし、一

般ドライバーが自家用自動車を使った有償の運送ができるようにすること、②三浦市など地域や時間帯によってタクシーが不足する場合には、一般ドライバーが自家用自動車を使った有償の運送ができるようにすること、③前記の実施にあたり、料金をタクシー料金と同程度にできるようにすること——の3点。

【交通界速報2023. 12. 16付による】

して赤坂見附駅前での阻止宣伝を展開しました。2箇所の宣伝では通行人にライドシェアの危険性が書かれたビラ入りティッシュ500枚を配布して周知しました。

ビラを受け取った通行人は「タクシーが足りないということで、ライドシェアが始まると便利になると思

っていたが今日の宣伝を聞いて危険が伴うと解り、認識が一変した。解禁した場合でも二種免許の資格要件で行ってほしい」と不安気に語りました。

この日、ライドシェアの危険を知らしめる音声データを活用してのスピーカー宣伝を併せて実施しました。東京地連では今後も各ブロックで宣伝カーの運転を担当し、都内一円を周回させてのスピーカー宣伝で危険性を知らしめる世論化に努めていきます。

2023. 12. 11 東京・赤坂見附駅前



関西 毎日ライドシェア解禁阻止の宣伝を実施

関西地連では、11月22日から29日まで毎日、大阪府や京都府内でビラ配布やマイク宣伝、「ライドシェア解禁阻止」のCD流し宣伝を行いました。

のべ200人ほどの参加者がこの間に配布した宣伝物は、市民用本部ビラ7000枚、乗務員用3000枚、ポケットティッシュ6000個、地連機関紙2000部にもなります。毎日宣伝していると、日増しに反応が良くなっている手ごたえがあり、バス・タクシー労働者が宣伝カーに向かって手を振ってくれたり、市民

が直接ビラを取りに来たり、宣伝の様子を写真や動画撮影するなど、応援してくれる人が多くなっているように感じ、励みになると参加者は話します。

庭和田書記長（本部委員長）は、「2024年は1月5日から毎日宣伝カー運行を再開し、適宜ターミナル宣伝を行う」と力強く意気込みを語りました。

街頭演説をする浅井執行委員（京都地連）＝
2023. 12. 20 京都・京都駅烏丸口前

